



# トラックボール 内蔵キーボード オプションキット

インストレーション インストラクション

インストールを開始する前に、  
必ずこのガイドをお読みください。



本書は再生紙を使用しています。

## ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、また本書の適用の結果生じた間接的損害を含めいかなる損害についても、責任を負いかねますのでご了承ください。本情報はそのままの状態提供されるものであり、Compaq Computer Corporationは、本情報について、いかなる明示、黙示、または一般法上の保証を否認します。また、商品性、特定の目的のための適合性、権限および権利侵害に関する黙示の保証について、ここに一切否認します。

本書には、著作権によって保護された情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Compaq Computer Corporationの書面による承諾なしに複写あるいは複製することはできません。

© 2000 Compaq Computer Corporation  
All rights reserved. Printed in the U.S.A.  
© 2000 コンパックコンピュータ株式会社

Compaqは、米国Compaq Computer Corporationの商標です。

Compaqトラックボール内蔵キーボード オプション キット

初版 (2000年10月)  
製品番号 191388-191  
コンパックコンピュータ株式会社

## このデバイスについて

Compaqトラックボール内蔵キーボードは、1Uフォーム ファクタに収納できるラックマウント型キーボードで、コンパックのスイッチ ボックス製品とともに使用する内蔵ホット キーを装備しています。ホット キー機能を使用すると、ラックマウント型デバイスを簡単に切り替えることができます。

Compaqトラックボール内蔵キーボードには、9つのホット キーが装備されており、このホット キーを使用して9台のデバイスを切り替えることができます。別に、プログラミング用のキーが1つ装備されています。

## キットの内容

Compaqトラックボール内蔵キーボード

注: 1UのCompaqトラックボール内蔵キーボードをインストールするには、キーボード シェルフ キットが必要です。

## ラックに関する注意

ここで説明する手順を開始する前に、必ず、次の注意を読んで理解し、従ってください。



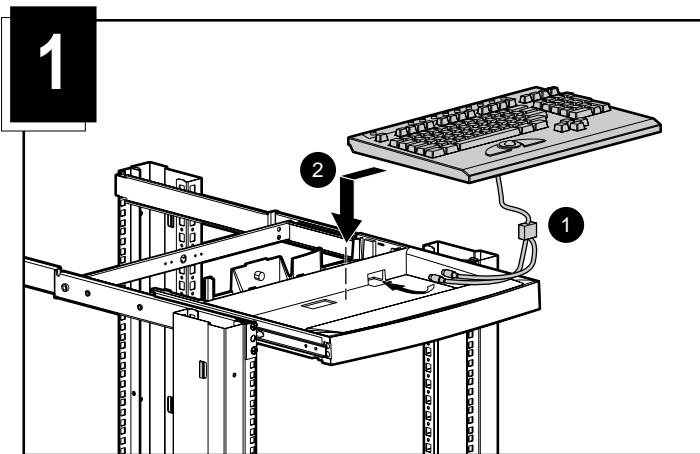
警告: けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- ラックの水平脚を床まで延ばしてください。
- ラックの全重量が水平脚にかかるようにしてください。
- 1つのラックだけを設置する場合は、ラックに固定脚を取り付けてください。
- 複数のラックを設置する場合は、ラックを連結してください。
- コンポーネントは一度に1つずつ引き出してください (一度に複数のコンポーネントを引き出すと、ラックが不安定になる場合があります)。

## インストール

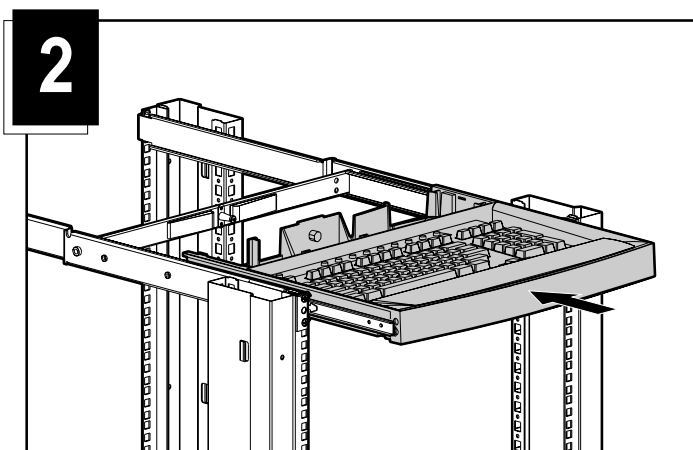
### 手順1

キーボード シェルフ キットを完全に引き出し、キーボード ケーブルをトレイ裏側の開口部に通します①。キーボードをシェルフに置きます②。



### 手順2

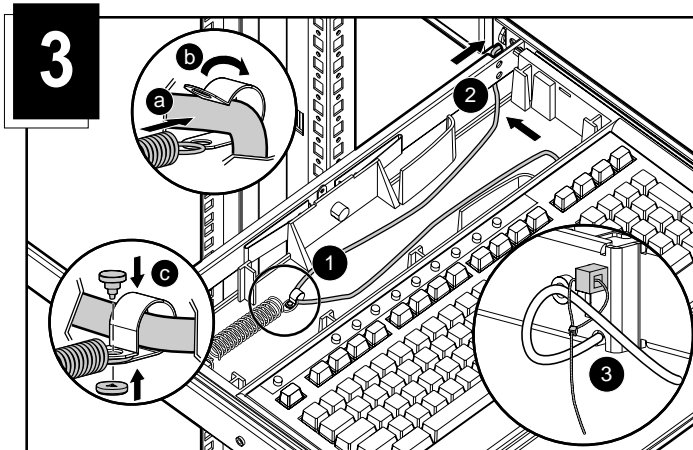
シェルフをラックに押し込みます。



### 手順3

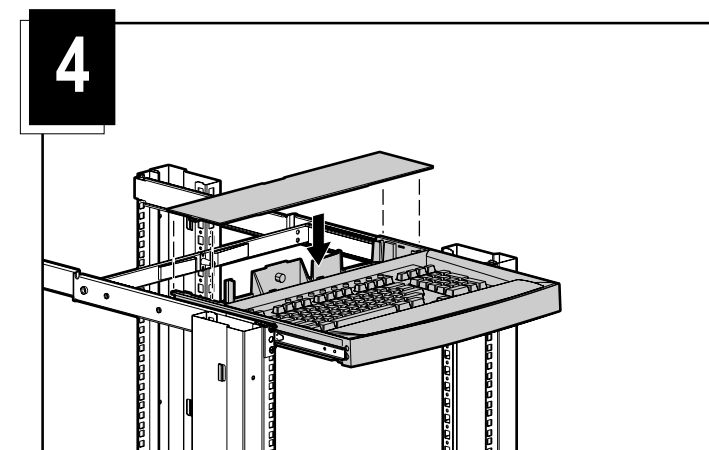
図3に従って、キーボード ケーブルを配線します。

- ① キーボード ケーブルを、ケーブル マネジメント スプリングのプラスチック製クリップに挿入します。
  - a. クリップを開きます。
  - b. ケーブルを挿入します。
  - c. クリップを閉じて、固定します。
- ② キーボード シェルフ背面およびレールの下からケーブルを通して、レールの底のノッチにはめ込みます。
- ③ ケーブル タイ マウントをノッチの少し上の穴にパチッとはめます。ケーブル タイをケーブル タイ マウントに通し、キーボード ケーブルの周囲に回して、穴に通したら、引いて締め付けます。



### 手順4

カバーを少し曲げて、シェルフ背面の所定の位置にパチッとはめ込みます。



以上でインストールは完了です。



## ケーブル ロック メカニズム

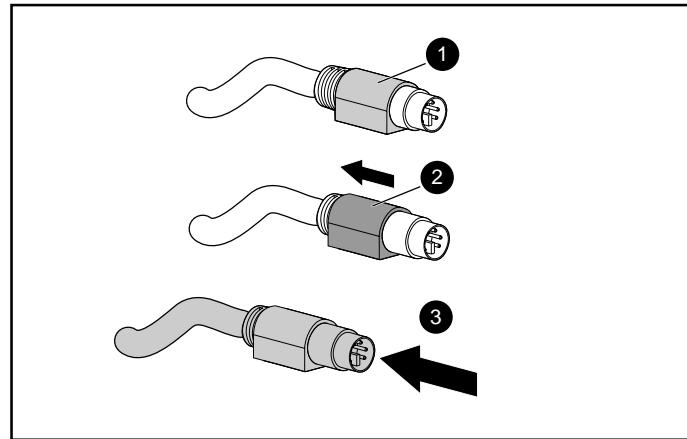
Compaqトラックボール内蔵キーボードのケーブルには、ケーブル接続を確実にするためのケーブル ロック メカニズムが付いています。これらのケーブルを取り外す場合は、正しい手順を実行しなければなりません。



**注意:** 正しい手順に従って取り外さない、ケーブルまたはユニットが損傷する場合があります。

キーボード ケーブルを正しく取り外すには、以下の手順に従ってください。

- 1 カバーを持ちます。
- 2 カバーを後ろにずらして、ケーブル ロック メカニズムを外します。
- 3 ケーブルを取り外します。



ケーブルは、適切なコネクタに差し込むだけで挿入できます。ケーブル ロック メカニズムは自動的にケーブルを所定の位置にロックします。

キーボードをスイッチ ボックスに接続する場合は、以下の順序でケーブルをスイッチ ボックスに接続してください。

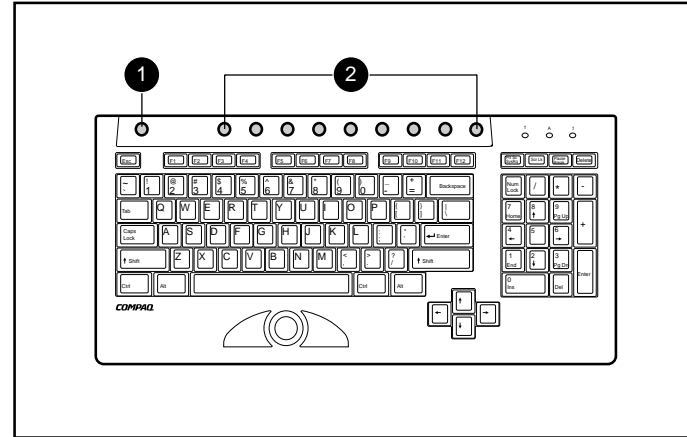
1. マウス
2. モニタ
3. キーボード

このケーブル接続の順序は、後でシステムに新しいデバイスを追加する場合に特に重要となります。マウスおよびキーボードは、システムの稼働中にスイッチ ボックスに接続できます。新しいデバイスを接続すると、スイッチ ボックスはデバイスを認識して、現在選択されているコンピュータ用に設定します。これにより、障害の発生したデバイスを、システムを再起動せずに交換することが可能になります。

## キーボード ホット キー

頻繁に使用する9台のデバイスに迅速にアクセスするために、9つのホット キーと1つのプログラミング キーを使用できます。

プログラム可能なウィザード キー①を使用して、他の9つのホット キー②をプログラミングできます。ウィザード キーを使用して、プログラミング操作モードを開始したり、ホット キーをデフォルト モードに戻したりすることができます。



## キーボードのプログラミング

Compaqトラックボール内蔵キーボードは、最大9台のデバイスをホット キーに割り当てることができます。また、1つのホット キーに対して最大7ストローク分のキー入力をプログラミングすることができます。

### ホット キーのプログラミング

1. プログラミング ウィザード キーを押します。
2. **Print Scrn**キーを押します。
3. デバイスを識別します (以下の例を参照してください)。
  - スレーブ スイッチ1の最初のサーバを選択するには、**1-1**をタイプします。
  - スレーブ スイッチ1の8番目のサーバを選択するには、**1-8**をタイプします。
  - スレーブ スイッチ2の4番目のサーバを選択するには、**2-4**をタイプします。
  - マスタ スイッチのポート8に接続されたスタンドアロン サーバを選択するには、**8**をタイプします。
4. **Enter**キーを押します。
5. 割り当てたいホット キーを押します。

手順3で示した4つの例すべてをプログラミングする場合は、各例を別々にプログラミングしなければなりません。

**注:** デバイスの割り当ては、固定的なものではありません。デバイスを割り当てなおすには、上記の手順を繰り返してください。